

はくぶつかんネット

第21号

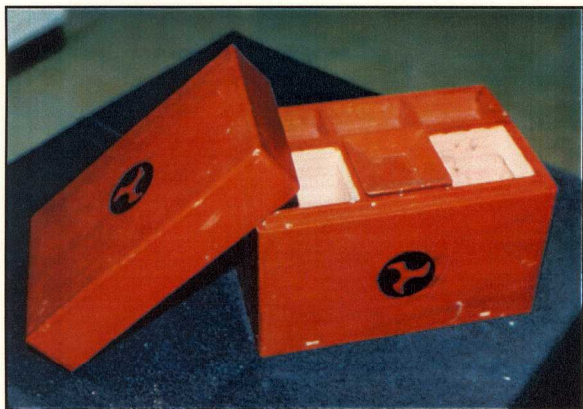
～ GINOWAN MUSEUM ～

2005年

1～3月

3ヶ月に1回発行

(次号は 4月15日)



← ビンシー（瓶子）
携帯用の御願道具箱。
御願や婚礼の時に
用いた。

★ 平成16年度 企画展のご案内 ★

～ 宜野湾市立博物館 開館5周年 ～

なつかしの宜野湾 「食と冠婚葬祭」

◆ 開催期間 : 2005年 2月20日(日) ～
3月20日(日) ◆

◆ 開催場所 : 企画展示室

※ 入場無料

新年、明けましておめでとうございます。

旧年中は当博物館の事業に対し格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。本年も変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、当博物館では2月20日から、2005年最初の企画展を開催致します。

今回の展示会は、以前行った「～なつかしの宜野湾～食と年中行事」に続くもので、今回は「食と冠婚葬祭」に目を当て、戦前から戦後にかけての冠婚葬祭の様子やその時代に作られたごちそうを再現し、現在の祝い方等と比べながら変化を感じてもらい、「昔はこうだったなあ」と懐かしんで、「昔はこんなだったんだ!」と発見し、「おじい・おばあの時はどうだったの?」、「おじい・おばあの時ってこんなだったよ」といった感じで、後世に伝えていくきっかけになればと思います。

皆様のご来館を、心よりお待ちしております。

発行: 宜野湾市立博物館
〈TEL〉098-870-9317
〈FAX〉098-870-9316
〈HP〉<http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>
〈HP〉<http://www.ginowan-okn.ed.jp/con7/index.html>



博物館 イメージキャラクター

察度くん と 天女ちゃん

博物館の問い合わせ先 : 098-870-9317

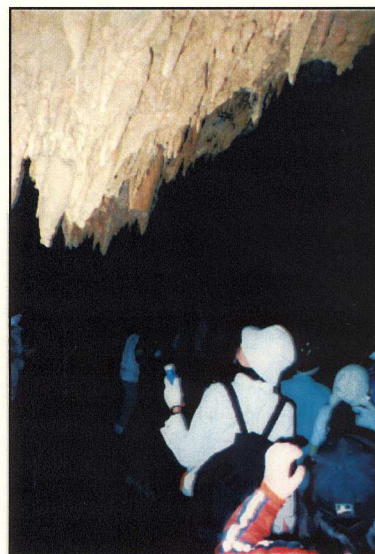
◎平成16年度 第2回講演会の報告

■ “ 宜野湾市の洞窟めぐり ” 好評でした！！

昨年の11月13日(土)に、「宜野湾市の洞窟めぐり No.4」を開催しました。講師の新垣義夫氏(普天満宮宮司・市立博物館協議会会長)の案内で、市内の洞窟4ヶ所を見学し、うち3ヶ所は実際に洞窟内に入りました。市民20名の参加でしたが、参加者は身近にこのような洞窟があるということに大変驚き、とてもいい体験が出来たようです。

参加者からは、「宜野湾市にこのような貴重で素晴らしい遺産があると初めて知り感動した」、「個人では経験できない貴重な体験ができ感激した」、「先生の説明がすばらしかった」、「探検気分を味わえて楽しかった」、「多くの人にぜひ体験してもらいたい」などの感想が聞かれました。

洞窟めぐりはこれまでで4回目となりますが、毎年応募者が多くとても人気があります。今回も70名の応募がありました。次回も企画する予定ですので、楽しみに！



▲ まさに洞窟探検！

◎平成16年度 わらばー体験じゅく & 講演会の報告

■ “ 大山でターナムの収穫を体験しました ”



▲ 収穫物を大きさ別に分けている所

昨年の12月4日(土)に、大山のターナム畑で「ターナムの収穫」を体験しました。風がとても強く寒い時期のうえ、台風の接近という不安な状況が予想されましたが、幸運なことに体験時間帯だけは良い日よりとなりました。

参加者は9月に植付の体験をした、わらばー体験じゅくの小学生と、講習会参加の大人合わせて23名でした。大山田芋生産組合の宮城徳康氏と伊佐實雄氏を講師に迎え、泥んこになりながらターナムの掘り起こしから、洗って炊くまでの作業を体験しました。また、体験中に講師から美味しいターナムの見分け方や、販売の苦労話

などのお話しも聞くことが出来ました。5時間の作業を終えて、参加者はその場で食べた炊きたてのターナムのおいしさに感動していました。またおみやげのターナムも頂き、それぞれの自宅に持ち帰っておいしく頂きました。

大人の参加者からは、「作業の大変さを実感し、農家の抱えている問題について知ることができた。農家の方々と市民が出会う機会はとても大事だと思うので、今後も続けて欲しい」、「掘りたて、炊きたてのターナムを腹一杯頂いて、とても満足した」、「農家の方々が親切丁寧に指導されて、大変勉強になった」という感想があり、子どもたちからは「最初は田んぼに入るのが嫌だったけど、入って楽しかった」、「めったにできない経験を味わった」などの感想が聞かれました。

この体験を通して、宜野湾市の特産であるターナムを肌で理解し、ターナム農家の方々との交流を持つことができ、有意義な体験となりました。

常設展示室のご案内

◆ 宜野湾人の顔 ◆

展示期間：2005年 2月23日～ 5月23日

常設展示『宜野湾人の顔』の展示替えを予定しています。

今回は嘉数区の方々です。明治から昭和生まれの先輩方と、小学生の顔写真を十数名分展示します。この展示は、2005年 2月23日(水)～5月23日(月)までの予定です。

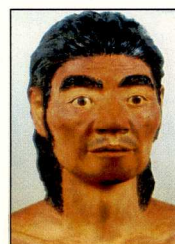
『宜野湾人の顔』は、現在市内に住んでいる方々の紹介となっておりますが、この展示があるエントランスコーナー全体を通してみると、人類の進化やその時代時代による人の顔の移り変わりについて知ることができます。

この『宜野湾人の顔』の展示は、開館当初から市内の各自治会の協力を得て、約3ヶ月ごとに展示替えを行っております。

次回は、野嵩2区の方々を紹介する予定です。

『宜野湾人の顔』の展示を見学する際には、常設展示室観覧料が必要となりますので、あらかじめご了承ください。

※前回のネットでご案内しました、展示替えの日程が予定より遅れてしまいました。たいへん申し訳ございませんでした。



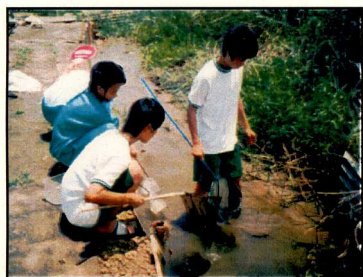
▲ 安座間原人

「職場体験」の報告



職場体験レポート

～博物館では、どんな仕事をしているんだろう？～



▲ ターンム畑で生き物の採集

市立博物館では、毎年3～5校から職場体験の申し出があります。昨年も中学・高校・大学の実習生を受け入れました。

7月1日と2日の2日間、宜野湾中学校の2年生男子5名が、職場体験学習を行いました。収藏品整理や常設展示案内、展示会アイデア企画に加え、6月に行った「慰霊の日特別展」の記録作成などしてもらい、一所懸命頑張っていました。

また社会教育実習のために、琉球大学の学生が8月12日に女子4名、9月2日に男子3名と女子1名の実習生が来ました。1日だけでしたが、資料採集や展示資料の作成・わらばり体験じゅくのワークシート作成などに組みんでもらいました。展示会アイデア企画では、それぞれの専門性を活かした企画やユニークな発想が出てきて楽しい実習でした。「考えて案を作ったことはとても楽しかった」等の感想がありました。

10月27日～29日の3日間には、普天間中学校2年生女子5名が職場体験学習を行いました。恒例の収藏品整理と常設展示案内、ワークシート作成や資料収集、展示会アイデア企画といった業務の一部を一所懸命取り組みました。「人から見えない部分で、いろいろな事をやっていると分かりました」、「将来の職業を決める時にとても役立つ」といった感想でした。

11月10日から12日は、浦添高等学校2年生の女子5名がインターンシップ(就業体験)に訪れました。中学生が体験した内容に加え、講演会「宜野湾市の洞窟めぐり」の下準備として洞窟への現地下見・整備をしました。感想には「学んだことを未来に役立てようと思っています」などがありました。

普段なかなか体験する機会がない博物館での仕事を活かし、次のステップを歩んで欲しいと思います。



▲ 収藏品の台帳作成

★ニントウヌ グエーサチ ウンヌキビラ サイ★

～ 年頭のご挨拶、申し上げます ～



グスーヨー クジュヌ 申年ン 館内ン ヌーヌ 難ガカイン ネーラングトニ
ウンジュナー ウンジュナーン クトシヌ アキマ 酉年 ヤーグナ スリミソーチ
ワレーフクイシミソーチ ワカミジシ ワカ ワカート マギ ショーグチ ンケーミソーチヤガヤー サイ。

〔皆様、昨年の申年も館内何の難事もなく、皆様方も今年も新年酉年、家族そろって若水を受け笑顔で迎えた事でございましょう。〕

シノーンシヌ ハクブツカン ヌン ウンジュナー ウマンチュヌ ウカジニ クトシ 6年ミンケーヌ
グトンカイ ナイビタン ウリン ブルディー カラチ ウタビーミソーチャヌ ウカジーデービル
グリーシーウンヌキャピラ サイ。〔宜野湾市の博物館も、皆様方多数のおかげで今年6年目を迎える事が出来ました。これも多数の力を貸して下さいました、おかげでございます。〕

ウンジェー チジニル カミトーイビル クトシン ウンジュナー スージカラ カラチ ウタビミ
セーヌグト ウニゲーサピラ サイ。

〔ご恩は最高に感謝してございます。今年も皆様の協力方を下さいますようお願い申し上げます。〕

ヌーニチーティン ドーカンジューサー デービル ウカンジュー シミセーヌグトニ ニンガンサピラ サイ。

〔何につけても健康第一でございますので、お元氣なされますように念願申し上げます。〕 (館長 佐喜眞)

★大山ターナムのこと

宜野湾市の特産が何かご存じですか？

そう、ターナム(田芋)ですね。ターナムは沖縄では正月や盆、お祝い行事には欠かせないものです。主なターナム料理には、デンガクや揚げ物などがあります。

さて市の特産であるターナムですが、どのように成長し収穫されているかは意外と知られていないと思いますので簡単に紹介します。まずターナムの苗は、収穫したターナムの茎の部分から作ります。次に耕して水を入れた田に縦横交差して線引きし、その線の交わった所に苗をまっすぐに植えます。それから収穫までには約10ヶ月かかりますが、台風が多い年には1年くらいかかります。収穫の時には、親芋の周りに子芋が通常5・6個つきます。掘り起こしたターナムは親芋と子芋に分け、ヒゲや泥を取って芋を苗と食べる部分、捨てる部分に切り分けます。芋を水洗いした後、水を入れたナービ(大鍋)に入れて蓋を閉め、約1時間くらい炊きます。その後はそれぞれの料理に合わせて加工していきます。ターナムはもともとは旧正月前後に収穫されていましたが、今では改良して一年中収穫できるようになりました。一般の店頭に並ぶのは盆や正月くらいで、その時期以外は料理店やホテル、菓子製造会社と取引されているようです。



宜野湾市は、現在では大山のターナム畑を残すのみとなりましたが、以前は市の西海岸地域の伊佐、大山、真志喜、宇地泊、大謝名には、豊富な地下水を利用した水田が広がっていました。市では明治から昭和30年代までは水稻中心で、ターナムは祝事用として副産物的に栽培されていましたが、昭和40年頃から外国の安い米が輸入されたため、ほとんどの農家が水稻からターナムに転換し、その後市のターナムは県内1位の生産となりました。現在では金武町に生産量は追い越されてしまいましたが、味はおいしいと評判で大山ブランドと言われ人気があります。市のターナム産業は、高齢化や少子化による後継者不足や、ターナム畑の宅地化や学校建設計画地など、存続については困難な状況にあります。また普天間飛行場の跡地利用の仕方によっても、ターナム畑の豊富な水が枯渇し水田ができなくなる恐れもあります。地方の時代と言われている昨今、大山のターナムは市の伝統産業としても、多くの生きものがすむ豊かな自然環境としても、大切にしたいものですね。

ちなみに地元の特産ターナムには、大山のJAグリーンパルでお目にかかれますよ。(比嘉)

◎ターナムの農作業を個人的に体験してみたい方は、相談に乗りますので博物館までご連絡ください。

入館料免除・資料館外貸出の申請について

○ 申請する場合は、手続が必要です。

博物館では入館料の免除申請、資料の貸出申請を行うことができます。
申請書の手続はそれぞれ、「入館料免除申請書」、「資料館外貸出許可申請書」に必要事項を記入のうえ、入館・貸出を希望する日の遅くとも、1週間前までに申請してください。

■入館料の免除申請に該当する団体

- ①教育課程に基づく学習活動として入館する学生、生徒、児童及びこれらの引率者。
- ②宜野湾市教育委員会、博物館が開催する博物館資料に関する講演会、講習会、研修会等に参加して入館する者。
- ③その他館長が免除することが適当であると認めた者。

■主な貸出資料

○収蔵品 ○ビデオ ○写真



～ あなたの家に、眠っていませんか？ ～

博物館では、宜野湾市を中心としたさまざまな生活用品や、当時の暮らしが分かる道具・写真・映像などの収集に力を入れています。

特に昭和の資料については、広く募集しております。

随時、資料の収集を行っておりますので、「こんなものがあるけど、どうかな？」と思っている方は、博物館までご連絡ください。職員がお伺い致します。

「博物館ガイドブック」について

「博物館ガイドブック」の主な内容は、常設展示室の展示解説、博物館見学と移動展の案内です。

冊数に限りがあるため、市内の学校や自治会、県内の博物館や図書館を中心に配布しております。ご覧になりたい方は、博物館の図書室をご利用ください。



～ 市立博物館にて、証明書の交付を行っています ～

住民票（謄本・抄本・除票）と印鑑証明のみ、市立博物館内に設置された交付の窓口にて申請を行えば発行されるという仕組みです。

★注意事項

1) 火・土・日、祝祭日、慰霊の日、年末年始は休みです。

※火曜日が祝祭日に当たった場合の翌水曜日や、くん蒸などの臨時休館日も、休みになります。

2) 午前9時～午後4時30分まで受付します。

3) 上記のとおり、住民票（謄本・抄本・除票）と印鑑証明以外は交付できません。

平成16年度の事業あんない

月	日	曜日	内 容	期 間
2	20	日	企画展「なつかしの宜野湾 ～食と冠婚葬祭～」	3月20日(日)まで ※入場無料

※ 日時や内容は未定のものもありますので、変更に関してはご了承ください。

◎ 詳しい日程や内容については、事業開催1ヶ月前にチラシや市報、新聞・雑誌の情報欄、はくぶつかんネットなどに掲載いたします。

◆ 宜野湾市立博物館の案内 ◆



△ 大型バスの駐車スペース有り

〒901-2224

沖縄県 宜野湾市 真志喜 1-25-1

TEL : 098 - 870 - 9317

FAX : 098 - 870 - 9316

◎ 開館日 ・ 時間

平日、土、日曜日の
午前9時～午後5時

※ 入館は午後4時30分まで

◎ 休館日

火曜日、祝祭日、慰霊の日(6月23日)、
年末年始(12月29日～1月3日)

※ その他、くん蒸による臨時休館日あり

※ 火曜日が祝祭日にあたる場合は翌水曜日は、休館日となります。

◎ 常設展示室 観覧料

	大 人	高校・大学生	小・中学生
個 人	200円	100円	50円
団 体	150円	50円	30円

※ 団体は20名以上からとなります。

※ 高校・大学生は、学生証の提示をお願いします。

▽現在、博物館では2つのホームページを開設しております。

ホームページ① : <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>

ホームページ② : <http://www.ginowan-okn.ed.jp/con7/index.html>

★ 博物館のホームページを開いてみよう！

博物館では、ホームページを開設しています。主な内容は博物館案内、行事の最新情報、はくぶつかんネットのバックナンバー、わらばー体験じゅくの情報などがあります。

ホームページ上では、第1号から最新号まで、はくぶつかんネットをカラーで見ることができますよ。いろいろな情報を得ることができると思いますので、まずは開いてみてくださいね。

◎ホームページアドレス → <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>
→ <http://www.ginowan-okn.ed.jp/con7/index.html>